

第1回 横浜市泉区民文化センター指定管理者選定評価委員会 会議録	
日 時	平成30年11月16日(金) 10時00分～12時00分
開 催 場 所	横浜市泉区役所2A会議室及び横浜市泉区民文化センター
出 席 者	選定委員：石田 麻子、下村 幸子、日並 勇、富岡 美津江、富野 良視 事務局：丸山地域振興課長、北川地域振興課係長、小木曾地域振興課職員、 小島地域振興課職員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開（議事5以降）（傍聴人0人）
議 題	1 定足数の確認 2 選定評価委員会の趣旨と委員会の業務概要の説明 3 委員長及び委員長職務代理者の選出について 4 会議の公開・非公開について 5 評価の対象となる目標項目・目標水準について 6 今後のスケジュールについて
決 定 事 項	会議の公開・非公開、委員長及び委員長職務代理者の選出、評価の対象となる目標項目・目標水準、今後のスケジュール等
議 事	地域振興課長 あいさつ 1 選定評価委員自己紹介・事務局紹介 続いて、運営要綱7条3項の規定に基づき定足数の確認を行いました。 2 選定評価委員会の趣旨及び委員会の業務概要の説明 事務局より、選定評価委員会の設置根拠、評価の方法及び基準について説明しました。 3 委員長及び委員長職務代理者の選出について 事務局より、選出の根拠及び選出方法について説明しました。 委員の互選により、委員長を「石田委員」、委員長職務代理者を「富野委員」に決定しました。 4 委員会の公開・非公開について 事務局より、第1回選定委員会は、評価の公平・公正性を担保することから、評価委員会の趣旨説明と委員長・委員長職務代理者の選任までを公開とし、評価の対象となる目標項目・目標水準の審議は、非公開とすることを提案しました。 また、第2回選定委員会についても、公平・公正な議論を進める観点から、評価書作成のスケジュールなどについて事務局説明までは公開とし、各委員からの評価の説明・質疑応答及び評価の決定については、非公開とすることを提案しました。 委員会の公開・非公開については、事務局の提案のとおり了承されました。 5 評価の対象となる目標項目・目標水準について (事務局) 評価基準・項目については、選定の際に区が提示した業務の基準、現

指定管理者が提出した提案書及び区と指定管理者で締結した基本協定書の内容の目標が達成されているのかを基本としています。

(委員) 目標水準としてより具体的に考えていることはありますが、細かく設定すると結果が明確とはならないため、A～Cで評価することが適当な項目となると考えます。コメントには主観・私見を書いていけばよいと思います。

(委員) 目標項目は横浜市各指定管理施設では同様のものなのでしょうか。

(事務局) 区民文化センターは全区にはなく、各区の実情に応じて、特徴があるため、必ずしも同じ項目ではありません。今回の事務局案は、過去の評価時の目標項目や、他区の事例を参考にし、区が提示した業務の基準、指定管理者が提出した提案書及び区と指定管理者で締結した基本協定書の内容等を踏まえて設定しました。

(委員) 泉公会堂と比べて泉区民文化センターは使いにくい、あまり使用していません。舞台は広いのに客席や控室は狭いと感じます。

(委員) なぜ使用しないのかについて議論の対象となります。使用しにくいということは同感です。

(事務局) 施設の構造に関することは、指定管理者による改善が困難であるため、評価項目にはしていません。制約条件の中で稼働率を高めるためにはどのような工夫をすべきかについては評価対象とできます。

(委員) 階段を明るくしたり、控室を広くするようにしてほしいです。

(委員) ホワイエの床は大理石になっており、飲食ができないのが不便なため改善してほしいと考えます。

(委員) 次期指定管理者公募時の募集要項に、今回、委員からのご意見の提案を盛り込むとよいと思います。

(委員) インターネットでの利用申込みとなっており、高齢者には難しいのが課題です。

(委員) 携帯電話で申し込みもできます、と案内をされたことがありますが、それも困難です。

(委員) 施設に職員が在席していないようなこともあり問題です。

(委員) 指定管理者の選定の際にもこのような意見がありましたが、改善されていないということでしょうか。

(委員) エレベーターが利用できるようになった、と聞いていますが、設置場所がよくわかりません。

(委員) 横浜市の評価の方法は、他の自治体の施設の評価に参考になります。評価項目には泉区の考えがあると感じています。公募時の提案書と必ずしも項目が対応していないため、評価をしやすくするためにも、提案書の表題と評価項目は対応していた方がよいと考えます。

また、提案時に想定していなかったことは記載できるようになっているとよいと考えます。

(事務局) 自己評価の際にコメントを記入するため、想定していなかった内容についても記入できます。前回の評価項目や、他区の事例を参考に項目を

	<p>設定しましたので、必ずしも提案書と項目が対応していませんが、ご意見を参考に、表題と項目を一致させた修正案を作成します。</p> <p>(委員) 現在の指定管理者は相鉄企業ですか。</p> <p>(事務局) 相鉄企業株式会社と、株式会社神奈川共立です。</p> <p>(委員) 事業報告書の毎月の自主事業については収支が合っていません。また、「その他保全費の内訳」には決算書の「その他保全費」だけでなく「機械警備費」の数字もあります。</p> <p>(事務局) 自主事業の収支については、数字がマイナス表記ではなく赤字表記となっていたため、印刷上の都合で合わないようになっています。その他保全費については、決算書の様式は横浜市の様式であるため、事業者の捉え方と異なっていたことが原因です。是正します。</p> <p>(委員) 事務局案では文化事業は2つの大きな柱がたてられています。「普及事業」については社会的なハンディのある方を対象とした活動に言及しているため、「社会包摂」や「多様性の尊重」といった言葉を入れませんか。</p> <p>また、「近隣大学との連携」の項目については、大学に限らず高校なども対象としてよいのではないかと考えますので、大学に限定せず、「大学等」や「教育機関」とするのがよいと考えます。</p> <p>(委員) 指定管理者選定に携わって長いのですが、改善点もありますが改善がされていないところもあります。言葉では書いていても、現実にできていないこともあります。泉区民文化センターはコマーシャルが不得手のため、和泉中央連合でチラシを毎月配布しています。</p> <p>(委員) 地域密着と言いつつも、実際はコミュニケーションがとれていないということですね。</p> <p>(事務局) 館長が交代し、現館長は現在の問題点について認識はしています。</p> <p>(委員) 問題意識と改善の期待はあるということですね。評価は現時点のものとなりますが、厳しい意見も必要です。</p> <p>6 今後のスケジュールについて</p> <p>目標項目・目標水準については修正し改めて提案することとし、今後のスケジュールについては事務局案のとおり了承されました。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p> <p>終了後 施設見学</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 議事次第 (条例・要綱付) (2) 目標項目・目標水準等関係書類一式</p> <p>2 特記事項</p> <p>今回は、平成 31 年 2 月 22 日 (金) 午前 10 時から、泉区役所 2 階 2 A 会議室にて開催することに決定しました。</p>